

CASE 05

企業名

株式会社
スプラウトジャパン

SPROUT JAPAN



外国人材を含む社員の“個性”を最大限に生かした、組織づくりと事業づくり

企業インタビュー

代表取締役
山内 和彦氏

事業内容

東日本大震災後、東北の経済活性化を目指して創業。データ分析ソリューション事業とデジタルメディア制作事業により、地方のプロモーション活動を支援している。今後はプロモーション範囲を、観光だけでなく輸出入などにも拡大していく予定。

企業概要

企業名：株式会社スプラウトジャパン

所在地：宮城県仙台市青葉区中央2-2-10 仙都会館ビル6階

設立年：2012年

資本金：1,000万円

従業員数：11名

うち高度外国人材3名

出身国・地域：アメリカ1名、シリア1名、台湾1名

業種：情報通信業(情報サービス業)

ホームページ：<https://www.sproutjp.co.jp>

高度外国人材を受け入れたきっかけ・背景

ボランティア活動で知り合った外国人材を採用

当社が初めて外国人材を採用したのは、東日本大震災のボランティア活動で、あるアメリカ人と知り合ったことがきっかけでした。人を喜ばせるのが好きで、写真撮影が得意な彼を見て、立ち上げたばかりのインバウンド事業で活躍してもらえると感じ声をかけました。当初はアルバイトで手伝ってもらっていましたが、途中から正社員雇用に切り替え、現在に至ります。

高度外国人材受け入れに当たっての取組内容

外部の力を借りつつ、ビザ関連手続きを正確に行う

これまで数人の外国人材を採用してきましたが、ビザに関わる手続きが必要な場合は、その都度当社の事情をよく理解してくれている外部の専門家に相談し、正確に手順を踏めているか確認してきました。また、必要に応じて、当社が外国人材の賃貸物件の保証人になったり、外国人材の代わりに賃貸物件を借り上げたりといった住まいのサポートも行います。

高度外国人材採用に当たっての課題と解決策

“いがぐり”のような組織を目指し、個性を重視して採用

当社が目指しているのは、大きな“いがぐり”のようなチーム。人にはできることとできないことがあり、代表の私も例外ではありません。だからこそ、それぞれの社員が尖った個性を持ちつつ、互いに強みと弱みを補い合いながら、1つのチームとしてまとまることをできることを理想としています。

そのため、外国人材の採用においても、ネイティブ並の完璧な日本語力は求めておらず、意思疎通できるだけの日本語力があれば十分だと考えています。外国人材が日本語で困っていれば、日本人社員が助けられるからです。代わりに重視しているのは、「個性」です。個人の持つ特定のスキルはもちろん、日本の常識に縛られない視点やアイデアこそが、組織を成長させる原動力になると期待しています。

CASE 05



高度外国人材定着に当たっての課題と解決策

定着のポイントは、会社としての魅力を上げ続けること

当社で採用した外国人材の中には、ステップアップのために転職していった人もおり、さらに長く定着してもらうためには、会社としての魅力を上げ続けるしかないと感じています。外国人材にも日本人社員と同等のチャンスを与え、より高度な仕事やマネジメントを任せていくことは、1つの手立てとなるはずですが、また、居心地が良く働きやすい職場環境を整備するのも重要でしょう。例えば、日本語での会話は問題なくても読み書きに苦手意識がある外国人材は、文章を読むのに時間がかかって生産性が落ちたり、メールを書く際に伝わりにくい表現を選んでしまったりすることがあります。現在も日本人社員がメールの事前確認を行うなどしてフォローしたり、高度な読み書き能力が求められる手続きを日本人社員が担うなどしていますが、今後はよりスムーズに業務にあたれるように役割分担も検討していきたいと考えています。

高度外国人材活用による成果・変化

外国人材の視点と語学力が、事業成長を後押し

外国人材を採用する際は、特に国籍は意識せず、あくまで日本人社員と同じ条件で仕事をしてもらう想定でいました。しかし、結果的には日本人社員にない視点やアイデアを生かし、インバウンド関連の事業成長に大きく貢献してくれたと感じています。外国人材を含めたチームが、言葉遣いやデザインにこだわり抜いて制作したインバウンドコンテンツは、海外の賞を受賞するなど高く評価されていますし、外国人材の語学力を生かした多言語対応に魅力を感じてくれるお客様も少なくありません。

今後は、観光に限らず、輸出入などの幅広い領域で、データ分析とコンテンツ制作を活用したデジタルプロモーションを展開していく予定です。外国人材を含む社員たちの個性を最大限に生かせる事業モデルを作っていきたいです。

高度外国人材社員

インタビュー

仕事を通して、新しいことを
学び続けたいです。



ALKITABI ALDAFTARI HANI

ハニ アルキタビ アルダフタリ 氏

国籍・地域
シリア 2023年入社

入社理由

奨学金の獲得をきっかけに東北大学大学院に留学し、機械工学を学んでいましたが、コロナ禍を機に大学院に通うのが難しくなりました。そうこうしているうちに奨学金が切れ、ビザを更新しなければならない時期が近づいてきたため、働くことを決意。何年か前に大学院の友人を介して知ったスプラウトジャパンが、新たに社員を募集していると知って応募しました。

業務内容

プログラミングによってデータを収集・加工し、可視化する、データ分析業務を行っています。データ分析は大学院の研究でも用いていたし、プログラミングも趣味で学んでいたため、ある程度の前提知識は持っていましたが、実際の業務では初めて触れるツールも多かったため、何をどの順番で学ぶべきか、わかりやすく指導してもらえたのはありがたかったです。

東北地域で働く理由・良さ

日本に住んで約10年が経ちましたが、仙台にいるのが一番落ち着きます。人が多過ぎない上に、ちょうど良い広さに必要な場所が揃っており、買い物はもちろん、1時間ほどバスに乗れば自然の中でのハイキングも楽しめるのが魅力的なポイントです。スプラウトジャパンの社員たちは仕事熱心で、外国人にもちょうどよい距離感で接してくれるので助かります。

今後のキャリアプラン

プログラミングやAPIの技術が急速に進化している上に、お客様の要望によってデータの収集・可視化の方法は大きく変わるため、毎日が新たな学びの連続です。以前は博士号を取ったら研究者になろうと考えていましたが、仕事でも同様にたくさんの学びを得られると知ったので、今後は会社で働き続けることも視野に入れつつ、自分がワクワクする道を選んでいきたいと思っています。